

令和 8 年 4 月 24 日

川西市長 様

[川西市 生涯学習部 観光・文化財課 御中]

NP0 法人コクレオの森

代表理事 藤田美保

川西市黒川里山センター 年次事業報告書（令和 7 年度）

川西市黒川里山センターの管理に関する基本協定書第 29 条に基づき、下記の通り提出いたします。

記

1. 指定管理者の概要

団体名	NP0 法人コクレオの森
代表者名	代表理事 藤田 美保
主たる事務所の所在地	大阪府箕面市小野原西 6-15-31
指定施設の名称	川西市黒川里山センター

2. 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日

3. 事業報告

- （1） 管理に係る業務の実施状況報告（添付資料 1）
- （2） 施設の利用状況報告（添付資料 2）
- （3） 使用料収入の実績報告（添付資料 2）
- （4） 施設管理費の実績報告（添付資料 3）
- （5） 事業の実施状況報告（添付資料 4）
- （6） 緊急事態の発生状況報告（添付資料 5）
- （7） その他（添付資料 5）

添付資料1

(1) 管理に係る業務の実施状況報告

日常業務として、貸室業務、センター事業及び自主事業の実施、全館清掃、センター周辺整備
年間の維持管理業務の概要は次のとおり

■ 2025 年 4 月

- ・ 館内清掃、草刈り
- ・ 新棟窓掃除(豊能シルバー人材センター)(4/2)
- ・ 南北棟開設準備

■ 2025 年 5 月

- ・ 南棟廊下一番奥の建具修繕(一吉工業)(5/1)
- ・ 新棟修繕(ソトムラ)(5/23)

■ 2025 年 6 月

- ・ 館内清掃、草刈り、川掃除、溝掃除
- ・ 北棟講座室 1 の雨漏り修繕(一吉工業)(6/27)

■ 2025 年 7 月

- ・ 館内清掃、草刈り、剪定
- ・ 北棟・展示室の窓ガラス破損をアクリル板で補修(7/29)
- ・ 南棟とトイレ間のスズメバチの巣の駆除(トータルクリーン)(7/30)
- ・ 北消防署による消防点検(7/30)

■ 2025 年 8 月

- ・ 館内清掃、草刈り、剪定
- ・ 消防点検(ANA)(8/1)
- ・ 記念銘板取り付け(一吉工業)(8/1)

■ 2025 年 9 月

- ・ 館内清掃、草刈り、剪定、川掃除、外のベンチ補修
- ・ アシナガバチ駆除(スロープ下)、スズメバチ駆除 2 回(ウッドデッキ周辺)
- ・ グラウンドへの砂利散布
- ・ 草刈り(豊能シルバー人材センター)
- ・ 施設点検(ANA)(9/3)
- ・ 北棟展示室のガラス修繕(業者)(9/24)

■ 2025 年 10 月

- ・ 館内清掃、草刈り、剪定
- ・ 調理室の窓枠落下に伴う応急処置(一吉工業)(10/4)
- ・ 薪ストーブの定期点検(業者)(10/24)
- ・ 軽トラックの定期点検(業者)(10/24)

■ 2025 年 11 月

- ・ 館内清掃、草刈り、落ち葉掃き、剪定
- ・ 草刈り(シルバー人材センター)(11/28)
- ・ 南棟図書室で新たな雨漏りを発見
- ・ 文化スポーツ課・施設マネジメント課・建築会社(一吉工業)による合同点検

■ 2025 年 12 月

- ・ 館内清掃、草刈り、落ち葉掃き、剪定
- ・ 建築会社(一吉工業)による屋根の点検
- ・ 南棟西側の扉の外れ止め補修
- ・ 南北棟の窓 2 か所の鍵の付け替え
- ・ 排水清掃(ANA)(12/17)

■ 2026 年 1 月

- ・ 館内清掃、草刈り、落ち葉掃き、剪定
- ・ 建築会社(一吉工業)によるグラウンド土壌改良、和室への除湿シート設置、窓・扉の修繕

■ 2026 年 2 月

- ・ 危機管理課による発電機点検
- ・ 建設会社による南棟調理室の床下換気工事
- ・ 消防点検(ANA)
- ・ Wi-Fi 接続不良による ALSOK 警備システム作動不良への対応(J-COM による機器点検)

■ 2026 年 3 月

- ・ 館内清掃、草刈り、落ち葉掃き、剪定
- ・ 建築会社(一吉工業)によるグラウンド土壌改良
- ・ 床と窓の清掃(ANA)
- ・ ソトムラ・施設マネジメント課による新棟 2 年目定期点検
- ・ ウッドデッキまでの道の整備(委託事業「里山林をつくろう」の一環)
- ・ 大型ゴミの処分

添付資料2

(2)施設の利用状況報告

■ のべ利用者数

R6 年度合計:7,915 人 → R7 年度合計:12,244 人

増減:+4,329 人 / 前年度比:154.7%(大幅増加)

■ 内貸室利用者数

R6 年度合計:2,529 人 → R7 年度合計:1,992 人

増減:▲537 人 / 前年度比:78.8%(減少)

川西市黒川里山センター 利用者数 前年度比較表													
区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
■ のべ利用者数													
R6年度	1,735	976	1,292	472	351	569	823	520	282	260	263	372	7,915
R7年度	496	1,960	1,554	682	797	1,323	1,915	827	696	499	670	825	12,244
増減	-1,239	+984	+262	+210	+446	+754	+1,092	+307	+414	+239	+407	+453	+4,329
前年度比	28.6%	200.8%	120.3%	144.5%	227.1%	232.5%	232.7%	159.0%	246.8%	191.9%	254.8%	221.8%	154.7%
■ 内貸室利用者数													
R6年度	233	426	670	188	95	224	492	0	36	22	29	114	2,529
R7年度	107	280	395	38	50	31	603	194	93	18	68	115	1,992
増減	-126	-146	-275	-150	-45	-193	+111	+194	+57	-4	+39	+1	-537
前年度比	45.9%	65.7%	59.0%	20.2%	52.6%	13.8%	122.6%	-	258.3%	81.8%	234.5%	100.9%	78.8%

(3)使用料収入の実績報告

南北棟のオープンに伴い、貸室料の安い部屋が利用される傾向にあったため、前年度比較をすると貸室利用料金が減少した。

川西市黒川里山センター 使用料収入 前年度比較表													
区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
■ 使用料収入（円）													
R6年度	8,520	23,520	13,135	22,380	4,260	19,880	3,240	0	2,840	1,420	0	11,050	110,245
R7年度	2,520	8,100	16,830	4,230	0	1,610	8,340	5,872	7,710	1,440	1,920	5,210	63,782
増減	-6,000	-15,420	+3,695	-18,150	-4,260	-18,270	+5,100	+5,872	+4,870	+20	+1,920	-5,840	-46,463
前年度比	29.6%	34.4%	128.1%	18.9%	0.0%	8.1%	257.4%	-	271.5%	101.4%	-	47.1%	57.9%

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

黒川里山塾 (委託事業)

2025年度

開催日時	6月15日(日)13:00～15:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	ちまきを作ろう		
対象者		参加者数	17名
講師	今西 多恵さん (黒川)、稲原 有さん (黒川勤務)		
内容	黒川地域で節句のお祝いに作られた「ちまき」作りを体験		
料金	800円 (ちまき1人3本つき)		

開催日時	6月21日(土) 10:00～12:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	川の生きものの観察会		
対象者	5才以上	参加者数	31名
講師	川西生きもの研究会 (川西市)		
内容	黒川に住む生きものの調査と観察		
料金	300円		

開催日時	7月6日(日) 10:00～11:30	開催場所	新棟・多目的室
事業名	炭の消臭剤を作ろう		
対象者	5才以上	参加者数	16名
講師	炭団アート		
内容	粉炭で作る炭団 (たどん) 作りと、たき火体験		
料金	700円 追加+400円 (2.5cmほどの炭団を3～4個持ち帰りマシュマロ焼きつき)		

開催日時	8月23日(土) 13:00～15:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	ヨナナさんのお話会～里山・黒川の暮らし、南インドの暮らし～		
対象者	中学生以上	参加者数	11名
講師	黒川の南インド料理店「ヨナナ」の堀部美香さん		
内容	黒川での暮らしや南インドの食文化についてお話を聞く		
料金	1,000円 (軽食代込み)		

開催日時	10月18日(土) 13:00～14:30	開催場所	新棟・多目的室
事業名	ダリアでフラワーアレンジメント		
対象者	5才以上	参加者数	11名
講師	ダリアあそびコーディネーター (主に宝塚で活動されている団体)		
内容	ダリアのお話とダリアを使ったフラワーアレンジメント 参加者にはダリア園の割引チケットを渡し、講座後にダリア園に行ってもらったようにした。		
料金	800円 (作品1つ持って帰れる)		

(5) 事業の実施状況報告(添付資料4)

黒川里山塾(委託事業)

2025年度

開催日時	11月9日(土) 10:00~12:00	開催場所	新棟・多目的室/近くの川
事業名	里山の生きもの観察会		
対象者	5才以上	参加者数	10名
講師	川西生きもの研究会(川西市)		
内容	黒川に住む生きものの調査と観察 ※雨のため、室内で生きもの観察と草木を用いた工作・紙飛行機作り		
料金	300円		

開催日時	11月22日(土) 10:00~14:00	開催場所	新棟・多目的室/周辺の里山
事業名	天然のツルを取って かごを編もう		
対象者	中学生以上	参加者数	9名
講師	センタースタッフ		
内容	午前は、ツルを取ることが里山の管理につながるという話をしたあと、センター周辺を散策し、午後はツルかごを編んだ。		
料金	500円		

開催日時	12月7日(日) 13:00~15:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	しめ縄を作ろう		
対象者	小学生以上	参加者数	15名
講師	センタースタッフ		
内容	黒川や川西市の材料を使い、しめ縄を作った。 午前はオプションで希望者だけ徳林寺の大根炊きへ案内した。		
料金	500円		

開催日時	2月15日(日) 10:00~15:00	開催場所	桜の森・和室・南棟
事業名	菊炭窯見学とお茶会		
対象者	中学生~大人	参加者数	9名
講師	センタースタッフ		
内容	センターに集合して桜の森まで歩いて、菊炭さんの炭窯見学 お昼前にセンターに帰って来て和室でお薄をいただき 午後はおとなのアトリエを楽しみました。		
料金			

開催日時	2月28日(土) 10:00~12:30	開催場所	新棟・多目的室
事業名	お味噌を作ろう		
対象者	小学生以上	参加者数	15名
講師	水口道子さん(黒川)		
内容	煮豆と米麴を混ぜて味噌を作った。		
料金	2,200円/2.5kg		

(5) 事業の実施状況報告(添付資料4)

黒川里山塾(委託事業)

2025年度

開催日時	3月22日(日) 10:00~12:30	開催場所	新棟・多目的室
事業名	こんにゃくを作ろう		
対象者	小学生以上	参加者数	15名
講師	水口道子さん(黒川)		
内容	こんにゃく芋からこんにゃくを作った。		
料金	1,000円/テニスボールサイズのこんにゃく 2つ		

開催日時	3月1日・15日(日) いずれも10:00~15:00	開催場所	黒川
事業名	里山林をつくろう		
対象者	中学生以上	参加者数	各日5名
講師	黒川里山再生・山活の会		
内容	3/1は間伐と植樹。3/15は北棟からウッドデッキへ続く階段作りを行った。		
料金	3/1は500円 / 3/15は無料		

開催日時	3月28日(土) 10:00~12:00	開催場所	新棟・多目的室/近くの川
事業名	ホタルの幼虫調査・観察会		
対象者	5才以上	参加者数	22名
講師	川西生きもの研究会(川西市)		
内容	黒川周辺の川でホタルの幼虫を調査する。 他にも川の生きものを調査、観察。		
料金	300円		

里山塾 所感	里山塾はリピーターの参加者も多く、特に「里山林をつくろう」では、「林業に関心がある」と参加された方が、普段から豊能町で活動されていたり、高校生であったりと、熱意を持って参加されていたことが印象的であった。 また、味噌とこんにゃく作りの講師は、黒川公民館時代から約20年にわたり講師を務めてくださっているが、ライフスタイルの変化もあり、今年度を一区切りにしたいとお話があった。 「里山林をつくろう」は当初、10月から全3回で実施予定であったが、講師の急病により、3月に2回実施する形へ変更となった。 できる限り黒川地域の方に講師を担っていただきたいという思いはあるものの、今後の継続的な事業実施を見据えると、近隣地域の方へ講師を依頼することも検討していく必要があると感じた。
-----------	--

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

里山遊び (委託事業)

2025年度

開催日時	5月17日(土) 10:00～12:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	絵本と里山あそび～春の里山を歩こう～		
対象者	3才～小学生までの親子	参加者数	4名
講師	センタースタッフ		
内容	絵本の読み聞かせの後、センター周辺の山を散策。 ※雨のため、早めに散策をきりあげて、しぼり染めをした。		
料金	300円		

開催日時	7月19日(土) 10:00～12:00	開催場所	近くの川
事業名	絵本と里山遊び～川であそぼう～		
対象者	3才～小学生までの親子	参加者数	41名
講師	センタースタッフ		
内容	絵本の読み聞かせの後、川遊びをする。		
料金	300円		

開催日時	10月25日(土) 10:00～12:00	開催場所	畑
事業名	絵本と里山あそび～さつまいもほりをしよう～		
対象者	3才～小学生までの親子	参加者数	28名
講師	センタースタッフ		
内容	絵本の読み聞かせの後、センターの畑でさつまいもを掘り、焼き芋を食べる。 ひとり500gのさつまいもをお土産として持ち帰る。		
料金	600円 (一人)		

開催日時	12月13日(土) 10:00～12:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	絵本と里山あそび～もちつき～		
対象者	3才～小学生までの親子	参加者数	34名
講師	センタースタッフ		
内容	絵本の読み聞かせの後、もちつきをして餅を食べる。 ひとり3つずつお餅をお土産として持ち帰る。		
料金	親子1000円 (子ども一人追加500円)		

里山あそび 所感	3歳から小学校高学年まで、幅広い年齢層の子どもたちが参加してくれた。 川あそびについては、活動場所の環境的なキャパシティが限られているため、安全面や体験の質を考慮し、来年度は参加人数を減らす必要があると感じた。 また、今年度は半日のプログラムが多かったため、ゆったり過ごすというよりは、内容があらかじめ決まった“イベント型”の進行になりやすかった。 里山塾でも感じていることだが、参加者同士は、一緒に昼食をとることで自然と関係性が深まりやすい。次年度からは、お昼を挟み、14時頃までゆったり過ごせるプログラム構成にしていきたい。		
-------------	--	--	--

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

みんな食堂 (委託事業)

2025年度

開催日時	4月27日(日) 12:00~13:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	みんな食堂		
対象者	内覧会参加者、黒川地区在住の方	参加者数	40名
講師	黒川地区女性部の方々		
内容	内覧会の後、参加者にランチをふるまう。 メニュー：たけのこ焼きこみご飯、お味噌汁		
料金	300円		

開催日時	7月27日(日) 10:00~13:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	夏 みんな食堂		
対象者	どなたでも (一般の方、黒川地区在住の方)	参加者数	46名
講師	黒川地区女性部の方々		
内容	地域の人たちと交流しながらランチを食べる。 メニュー：ちらし寿司、そうめんのおすまし		
料金	300円		

開催日時	11月30日(日) 11:30~13:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	秋 みんな食堂		
対象者	どなたでも (一般の方、黒川地区在住の方)	参加者数	45名
講師	黒川地区女性部の方々		
内容	地域の人たちと交流しながらランチを食べる。 メニュー：さつまいもご飯、豚汁		
料金	300円		

開催日時	2月22日(日) 11:30~13:00	開催場所	新棟・多目的室
事業名	冬 みんな食堂		
対象者	どなたでも (一般の方、黒川地区在住の方)	参加者数	40名
講師	黒川地区女性部の方々		
内容	地域の人たちと交流しながらランチを食べる。 メニュー：しいたけの炊き込みご飯、お味噌汁		
料金	300円		

みんな 食堂 所感	黒川の女性部が1班から4班まであったため、年4回、それぞれの班に担当していただく形で実施した。 実施を通して、女性部の方々の負担は想像以上に大きいように感じた。 センターとしては、地域内外の人が交流することで、将来的には放置林や耕作放棄地と、地域外の担い手とのマッチングにつながればという意図があった。しかし実際には、黒川地域の方と一般参加者との会話が大きく広がる場面は多くなく、交流を生み出す難しさを感じた。 また、地域の方の孤食を少しでも減らしたいという思いもあったが、実際に参加される方は固定化する傾向があり、十分に届いていなかったように感じる。 一方で、毎回「みんな食堂」のチラシを里山スクールの小中学生が黒川地域を回って配布してくれたことについては、地域の方々もスクールの子どもたちも喜んでおり、良い交流の機会となっていた。 そのため次年度は、「食」を中心とした交流だけでなく、里山スクールの子どもたちと黒川地域の方との交流そのものに重点を置いた取り組みへ発展させていくことも考えられる。 また、女性部の方々からも「次年度の継続は難しい」とのお話をいただいている。
-----------------	--

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

委託事業

開催日時	2025年5月10日～通年	開催場所	南棟・どんぐり
事業名	森のとしょしつ		
対象者	どなたでも	参加者数	3,084名
講師	センタースタッフ		
内容	図書、キッズスペース、オムツ替えスペースを置き、誰でも休憩できる場所にした。冬季（12月～3月上旬）は、薪ストーブをたき、ハイカーも休憩出来る雰囲気にも模様替えした。		
料金	無料		
所感	夏季は暑さ対策としてスポットクーラーを設置し、冬季はストーブを出すなど、季節に応じてスペースの配置を変更しながら、利用しやすい環境づくりを行った。 また、冬季には薪ストーブを使用したことで、黒川地域の方々が見に来てくださる場面もあり、地域で大切にされてきた薪ストーブを活用できたことは良かったと感じている。		

開催日時	2025年5月～土曜日・日曜日・夏休みの平日2日	開催場所	南棟・どんぐり/新棟の一部（夏季）
事業名	里山アトリエ		
対象者	3才以上	参加者数	1,525名
講師	センタースタッフ		
内容	自然素材や廃材を使い、自由に工作を行えるスペース。スタート時点では予約不要にしていたが、想定を超える人が来たため、6/14からは予約優先制にした。また6月下旬～9月下旬までは暑さ回避のため場所を新棟の多目的室の一部に移動した。		
料金	500円（付き添い無料）		
所感	当初は予約不要・体験時間おおむね2時間程度でスタートしたが、Instagramで紹介されたことをきっかけに来場者が大幅に増加した。 そのため途中から整理券配布制へ変更したが、それでも1～2時間待ちとなる日が続いたため、最終的には予約制へ移行した。 予約制への移行当初は1日3タームで実施していたものの、スタッフの休憩時間や清掃時間の確保が難しかったことから、現在は2ターム制として運営している。 また、里山アトリエをきっかけに黒川里山センターを知り、その後「里山塾」「里山スクール」「おとなのアトリエ」など、他事業へ参加される方も見られた。 まずは気軽に参加できる入口をつくり、そこからより深く里山について学ぶ講座へつなげていくというセンターの意図にも合った展開になっていると感じている。		

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

委託事業

開催日時	8月以降、月2回程度	開催場所	講座室3・準備室
事業名	おとなのためのアトリエ		
対象者	中学生以上	参加者数	里山アトリエに含む
講師	センタースタッフ、うえんそら工房（糸紡ぎ）		
内容	里山アトリエとは対象年齢が異なり、中学生以上を対象とした、手仕事やものづくりのための時間。月ごとにテーマを設定し、センタースタッフがやり方をレクチャーするほかに自由制作も可能。1月・2月・3月には講師を招いて、糸紡ぎと織物のワークショップを開催。2月には桜の森の菊炭窯を見学とアトリエのイベントを開催した。		
料金	講座ごとに500～5500円		
所感	里山アトリエは未就学児から小学生の親子連れが多く、大人が利用しづらいため、ものづくりをしたい大人（中学生以上）を対象に開催した。 1回の参加人数は少ないものの、参加者の満足度は高い。里山の静かな環境の中でゆっくりと自分の時間を過ごすことができる空間になっている。 おとなのためのアトリエのメインターゲットの層はミドルからシニア世代である。現在、里山センターの利用者層は親子連れが多く、他の層にも広げていくためにも、今後も継続的に行っていく。		

開催日時	9月21日(土) 10:00～12:00	開催場所	全館
事業名	黒川里山マルシェ2025		
対象者	どなたでも	参加者数	433名
講師	地域の団体		
内容	黒川近隣のお店・自然団体による、飲食、自然あそび、音楽ステージ。		
料金			
所感	「黒川を中心とした地域のお店や自然団体の発表会」というコンセプトで実施しており、大規模イベントとは異なる、地域ならではの手作り感のある雰囲気が特徴になっていると感じている。 駐車場については、黒川駐車場を利用し、約60台を想定していたが、実際には収まりきらず、出店者向けだったセンターグラウンドも開放する対応となった。 黒川地域の方には毎回全戸配布で案内を行っているものの、実際に来場される地域の方は10名程度に留まっており、今後は地域の方にもより足を運んでいただける工夫が必要だと感じている。 ボランティアについては、現在は里山スクールやコクレオの森の会員の方々が中心となっているが、今後は里山塾やマルシェなどをきっかけにセンターへ関わった方々が、参加者から運営側へと関わり方を深め、継続的に地域と関わる“関係人口”となっていくような流れをつくっていければと考えている。 また、参加者からは毎回「送迎があれば参加しやすい」という声もあるため、今後は近隣施設とのイベント同日開催や連携なども含め、アクセス面の工夫について検討していきたい。		

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

委託事業

開催日時	通年	開催場所	南棟・エントランス
事業名	里山カフェ		
対象者	来館者	参加者数	ー
講師	なし		
内容	里山で、ほっと一息、コーヒーを飲んでもらう。		
料金	1パック200円 3パック500円		
所感	当初は最低ロットが500個からだったため、在庫が多く残ってしまう状況があった。 そのため年度途中で業者を変更し、最低ロットを10個単位にしたことで、過剰在庫や賞味期限切れを防げるよう改善を行った。		

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

委託事業

開催日時	通年	開催場所	北棟・昇降口ギャラリー
事業名	里山展示		
対象者	一般	参加者数	未計測
講師	地域の自然団体等		
内容	主に黒川を中心とした地域の里山についての情報展示 2か月ごとに入れ替え 5月 北摂里山博物館：北摂の里山の情報発信 大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科：炭を使った染色 6月・7月 今西菊炭本家：炭窯作成までの写真展示 北摂里山文化保存会：「台場クヌギ」の群生地 of 保全活動について 8月・9月 黒川ダリア園：ダリア園紹介 ゆめほたる里山学校：講座についての紹介 10月・11月 近藤 和美さん：黒川を中心とした北摂里山の写真と詩の展示 12月・1月 NPO法人 ひょうごの森倶楽部：森林整備活動 一般社団法人きららの森：里山共同保育所の写真 2月・3月 菊炭友の会：桜の森の整備活動 能勢妙見山ブナ守の会：天然記念物のブナ林の保全活動		
料金	無料		
所感	これまで、里山について知ることのできる常設的な展示が十分になかったため、展示室ができたことで、施設としてより「里山センターらしさ」が感じられるようになった。 今年度から里山展示を開始し、2か月ごとに展示内容を入れ替えたことで、各展示団体の方々も「黒川里山センターで展示中」と広報していただき、新たな来館者につながったと感じている。 一方で、展示室は来館者が入りづらい傾向もあるため、展示室内にフォトラリーのスタンプ台を設置し、立ち寄りきかけづくりを行った。 次年度も、黒川地域を中心にさまざまな個人・団体へ声をかけながら、多様な展示を実施していきたい。		

(5) 事業の実施状況報告 (添付資料4)

自主事業

2025年度

開催日時	2025年5月～2026年3月 毎週水曜日・木曜日	開催場所	黒川里山センター周辺
事業名	里山スクール 風泉		
対象者	小学生 中学生	参加者数	834名
講師	西川友紀子、井上香純、茂木一		
内容	里山の四季の中で、散策や料理、ものづくりをしながら過ごします。 自然観察やみそ汁などの昼食づくり、遠足やキャンプなど 季節の行事も実施します。		
料金	1学期：86,000円（週2） 2学期：99,200円（週2） 3学期：62,000円（週2） 単発：4,000円		
所感	前年度までは、水・木曜日を小学生、金曜日を小学6年生～中学生向けとして実施していたが、中学生の利用が少なかったこともあり、今年度は金曜日の実施を取りやめ、水・木曜日についても小中学生の区分をなくして運営した。 里山スクールに一定期間通った後、それまで通うことが難しかった地元の学校へ再び通えるようになる子どももあり、保護者の方々からの評価は高いように感じている。 他方、一日の参加人数が10人前後と少なく、いつも15人程の参加にしていきたい。		

開催日時	通年	開催場所	畑
事業名	みんなの農園		
対象者	一般市民	参加者数	13グループ
講師	なし		
内容	自分の区画内で農園を楽しみます。 収穫の時期にはみんなで収穫祭を実施します。		
料金	6㎡で月500円		
所感	年に1回、利用者同士の交流会を実施したが、参加者は少なく、農園利用者の方々は交流自体にはあまり関心が高くないように感じた。 一方で、柵の設置面積を広げるなど、継続的に楽しみながら利用されている方も見られた。 また、農園利用者は農園利用を主な目的として来られている方が多く、週に1度、月に1度などコンスタントには来られるが、センターの他事業への参加にはあまりつながっていない。		

開催日時	通年	開催場所	南棟・エントランス
事業名	里山ショップ		
対象者	来館者	参加者数	－
講師	なし		
内容	黒川を中心とした地域の個人・お店による商品の販売		
料金			
所感	道の駅のように多くの商品が並ぶわけではないが、黒川らしさを感じてもらう、ちょっとしたPRの場にはなっているのではないと思う。		

添付資料 5

（６）緊急事態の発生状況報告

特になし

添付資料 5

（７）その他

【行政・視察関係】

10 月には J-COM の取材に際し越田市長もご訪問され、11 月に放映されました。2 月には和歌山県日高町からの視察を受け入れました。

【地域連携】

9 月の里山マルシェには 433 名の来場者があり、出店者として 21 団体が参加しました。

3 月には黒川自治会による避難時マニュアルの説明会が新棟で開催され、避難用品の移管も実施され、地域交流の場として活発に活用されています。

【中高生の利用など】

5 月・6 月：トライやる・ウィーク（中学生の職業体験）を受け入れ

8 月：北陵高校の生徒から里山についてのインタビュー依頼があり、菊炭の今西良拡さんにつないだ（8/14）

【施設不具合】

7 月に北棟展示室の窓ガラスが破損しアクリル板で応急対応、10 月には調理室の窓枠が落下し業者による応急処置を実施しました。11 月には南棟図書室で新たな雨漏りが発覚し、施設管理担当および建築会社による点検を行いました。2 月には WiFi 不具合により ALSOK が一時作動しない事態が発生し、業者点検により対応しました。